

平成14年3月

米沢市文化財年報

No. 14

文化財愛護シンボルマーク

米沢市教育委員会



行屋 国指定 平成9年12月15日〔重要有形文化財〕

3棟のうち1棟を平成13年8月22日米沢市丸の内一丁目2番1号
〔米沢市上杉博物館〕に修理して移築

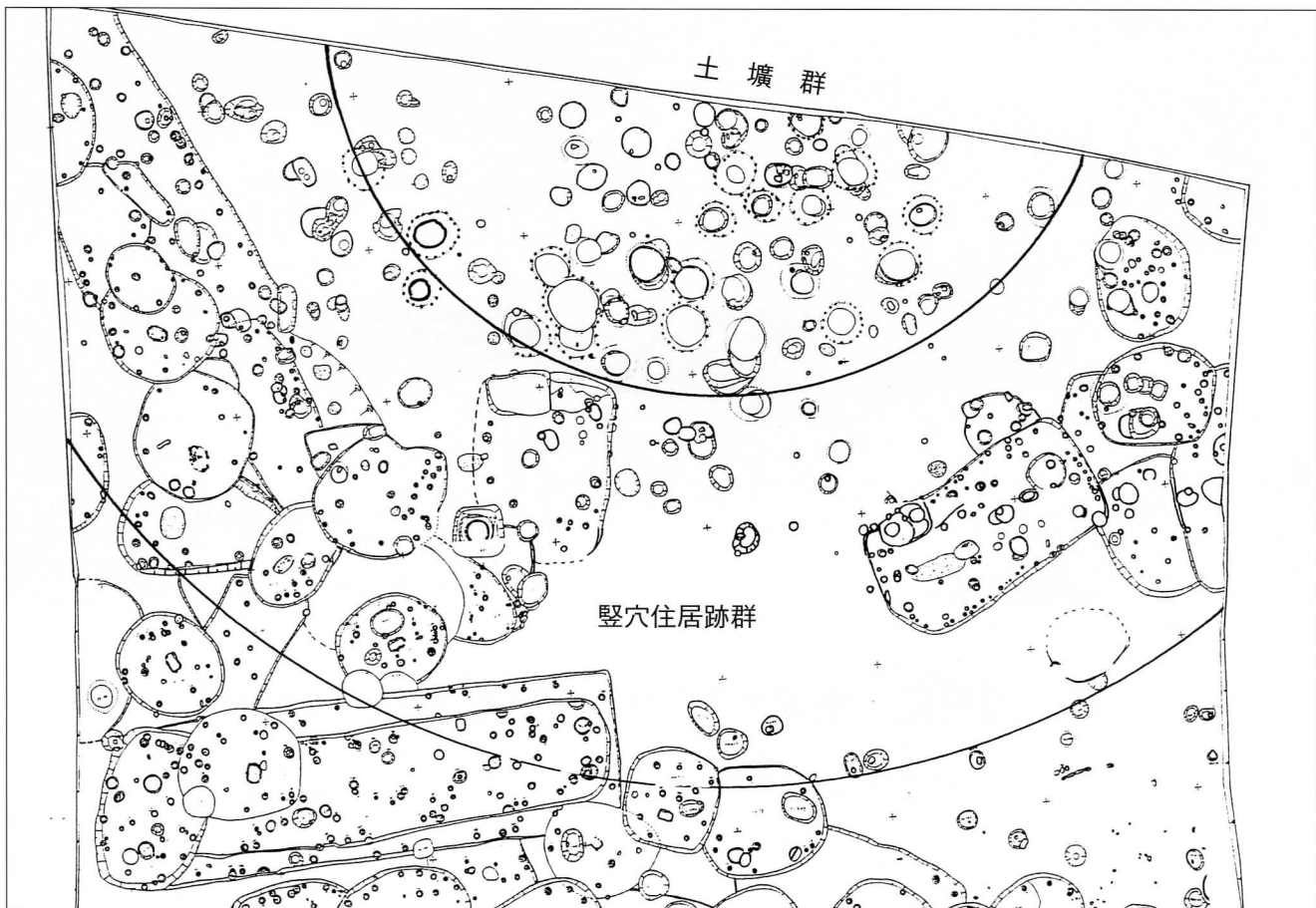
埋 蔵 文 化 財

平成13年に、埋蔵文化財に関する調査依頼を受けたのは約100件であり、試掘調査を実施したのは41件でした。このうち緊急調査を対象として記録保存を実施した遺跡は、台ノ上遺跡と館山北館遺跡の2遺跡で発掘調査を実施しました。後者の館山北館遺跡は中世の重要な遺跡であることから特に注目されています。以下に2遺跡の成果について概要を述べます。

台ノ上遺跡「吾妻町地内」

縄文時代中期を中心とする大規模な集落跡であり、大正11年頃に発見されたと言われております。今回の調査は個人の牛舎関連施設建設工事に係わる緊急調査として、実施したものであり、工事によって直接遺構に及ぼす5,000㎡を対象に平成12年度から平成16年度の5ヵ年計画で実施しているものです。平成13年度は約2,000㎡を対象として5月7日から同年9月28日の日程で調査を実施しました。

確認した遺構を図示したのが下図であり、中心には土壙群、その周囲には竪穴住居跡群が構築されており、環状に展開すると想定されます。土壙群は袋状土壙と呼ばれる形態であり、上部がせまく、底面が広く掘られています。内部からは土偶や土製品等の祭祀に関連する遺物が多く出土しており、墓と想定されます。土器類は北の青森県の特徴をもつ円筒式土器や北陸地方の影響を受けた文様、関東地方の影響を受けた文様があり、広範囲の交流を示すものとして注目されています。



平成13年度第8次調査区遺構全体図



館山北館跡調査区全景（空中写真）

館山北館の調査

大樽川^{おおたる}と小樽川^{こたる}の合流する地点には、伊達氏^{だてし}が築いたとされる置賜地方最大の山城「館山城」^{やまじろ たてやまじょう}があります。全長約350mを誇る山頂には、約70m×60m四方の主廓^{しゅかく}を中心に東の副廓^{ふくかく}と西側の小規模な曲輪^{くるわ}等で構成されており、これらを巨大な土塁^{どるい}や堀切^{ほりきり}で区画されています。発達した土塁と柵形の形態より、戦国末期の山城と考えられています。

今回の調査は、館山城の北側に位置する河岸段丘上の平坦地に(財)県南魚業組合が計画した稚魚養殖池の造成工事に伴う緊急調査として実施したものです。遺跡からは、桁行^{けたゆき}9間、梁間^{はりま}3間の大型建物をはじめ、33棟の建物跡と河原石を丁重に積み上げた井戸跡、それに建物を区画したと思われる薬研堀^{やげんぼり}が検出されています。注目されるのは、大型建物跡「母屋」を中心に、付随施設となる小規模建物が2棟～4棟を単位として屋敷を構成しており、各屋敷には井戸が伴っています。これらの屋敷群は周期的に建替しを行っており、9時期にわたる建物変容が確認されています。出土した遺物から想定される年代は、16世紀前半～16世紀後半と想定され、伊達晴宗から伊達政宗の時代にはほぼ一致します。今回の調査は、約5万㎡の平坦地の僅か2,500㎡を調査したに過ぎませんが、館山城の北側に広がる平坦地には同じような建物群が整然と配置されていたと考えられます。同様な平坦地は東側と南側にも存在しており、館山城との一角として機能していたものと想定され、館山城が想像以上に大規模な城廓であったことがうかがえます。今回確認された屋敷群は、館山城が築城された時期に建てられた可能性が高く、館山城と伊達氏との係りや中世史を知る上でも重要な遺跡と考えられます。

山形県指定文化財

けん ほん ちゃくしよく だい い とくみょう おう ぞう
絹本著色大威徳明王像

一幅 保存修理

〔平成12年5月2日付 県指定絵画〕

時代 南北朝～室町時代〔十四世紀〕

法量 135.8×65.8〔cm〕

所蔵 米沢市上杉博物館

五大明王のうちの一つで怨敵調伏・戦勝祈願を目的とした修法に懸けられた本尊である。五大明王中の一画として制作されたものか、はじめから大威徳明王像単独で製作されたものかは不明である。

渦巻きの火焰かえんを背に六角座の上にうづくまる水牛の背に六面六臂六足の明王が座している。中央の第一手は左に弓、右に矢をとり、第二手は左に蛇索ださく、右に宝棒蛇索ほうぼう ださく、右に宝棒さん こげき、第三手の左に三鈷戟さん こげん、右に三鈷劍どくろをとる。髑髏と蛇の胸飾り、蛇の条帛、手首、下腹部にも蛇を巻きつけるなど蛇が目につく。智証大師系の図像であるが、祖本の一童子五部使者を省略して本尊のみを写したものと推察される。しかし、写し崩れがほとんどなく、品よく丁寧な仕上げの作品となっており、古い仏画の少ない山形県では貴重なものである。

修理内容

1. 本紙縦横に折れが見られ、折れ山に沿って料絹の欠失切れ修理
2. 肌裏紙の浮きの修理
3. 画面全体に経年の汚れ修理
4. 絵具の剥落修理
5. 表装裂地折れ修理
6. 貼り風帯が片方欠失修理

修理で得た事実 その他

- 旧上巻網に書かれていた修理銘は、その部分のみ表装より取り外して矢車染め薄美濃紙うすみのしにて裏打ちし、新調収納箱に底いれした。
- 以前の修理において、料絹剥ぎ目の養生のために本紙裏面より直接带状の色紙が貼られていた。また、同様に折れ伏せがされていた。
- 料絹の欠損部には、本紙裏面より带状の絹が充てられていた。
- 両面の汚れを除去したことにより、彩色が甦り画面が明るくなった。



国指定史跡

米沢藩主上杉家墓所保存修理事業

米沢藩主上杉家墓所は、江戸時代の大名墓所の代表的なものとして、昭和59年1月11日に国の史跡に指定されました。米沢では、昔から「御廟」や「おたまや」とよび市民の崇敬を集める場所であり、また県内外から大勢の観光客が訪れる史跡となっています。

近年、廟屋等の傷みが著しくなってきたことから、平成3年度に、この史跡の適切な保存管理の方針を示す「保存管理計画」が策定されました。

これに基づき、平成6年度から国・県・市の補助を受けながら歴代藩主の廟屋等の修理工事が実施されました。

平成13年度は、総事業費50,000千円で、謙信廟、斉定廟・世子顕孝廟の修理工事が実施されました。

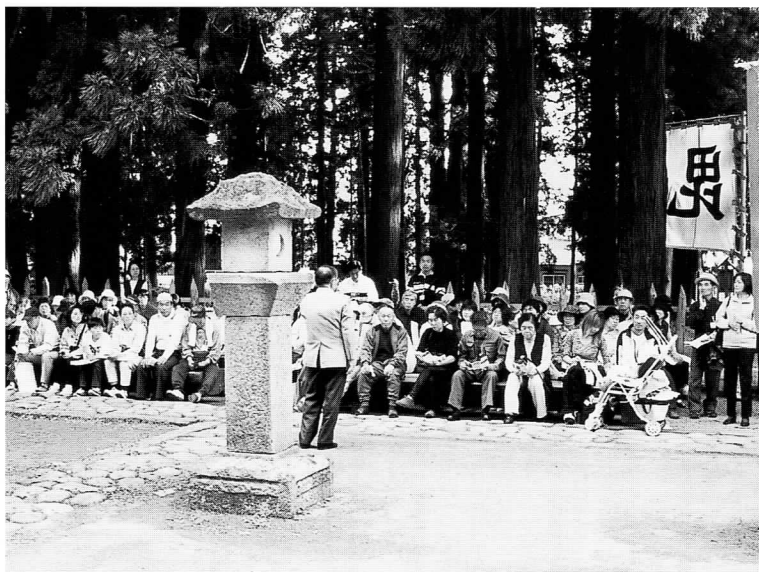
謙信廟は、前年度に引き続き門・塀の屋根葺替え等の修理を行い、斉定廟・世子顕孝廟については、屋根銅板葺を解体し持ち上げ、軸部足元周り等の補修を行いました。



上杉鷹山公生誕250年・上杉氏米沢入部400年祭記念事業

「歩き・み・ふれる歴道」東北ブロック大会を開催

平成13年10月14日〔日〕



コース

米沢市上杉博物館→上杉神社→稽照殿→臨泉閣〔昼食〕→上杉家墓所→法泉寺→Y O Z A Nフェスティバル会場〔解散〕

参加者約90名、1班から6班まで班編成をして、午前9時20分出発。今も残る上杉文化の足跡や文化財を訪ね、往時と現在を比較しながら初秋の城下町「米沢」を皆さんで探訪しました。

報告書紹介

米沢市教育委員会では、埋蔵文化財及び一般文化財の調査成果をまとめた、報告書を作成しておりますので紹介します。

【埋蔵文化財調査報告書】	欠番は在庫なし		
○『桑山遺跡発掘調査報告書Ⅰ』	第6集	¥4,000	
(水神前・柿の木・二タ俣B各遺跡)			
○『桑山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	第8集	¥4,950	
(八幡堂・二タ俣A各遺跡)			
○『左沢遺跡発掘調査報告書』	第11集	¥1,500	
○『法将寺遺跡発掘調査報告書』	第12集	¥1,040	
○『白旗遺跡発掘調査報告書』	第13集	¥500	
○『石垣町遺跡発掘調査報告書』	第16集	¥800	
○『桑山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』(大清水遺跡)	第17集	¥3,700	
○『大浦A・C遺跡発掘調査報告書』	第18集	非売品	
○『三の丸・生蓮寺遺跡発掘調査報告書』	第19集	¥1,170	
○『比丘尼平遺跡発掘調査報告書』	第21集	¥950	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第1集	第23集	非売品	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第2集	第25集	非売品	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第3集	第27集	非売品	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第4集	第28集	非売品	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第5集	第32集	非売品	
○『大浦C遺跡発掘調査報告書』	第33集	非売品	
○『上新田A遺跡発掘調査報告書』第1集	第34集	非売品	
○『一ノ坂遺跡発掘調査概報』第2集	第35集	非売品	
○『大浦B遺跡発掘調査報告書』	第36集	非売品	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第6集	第37集	非売品	
○『一ノ坂遺跡発掘調査概報』第3集	第38集	非売品	
○『上新田A遺跡発掘調査報告書』第2集	第39集	非売品	
○『一ノ坂遺跡発掘調査概報』第4集	第40集	非売品	
○『矢子山城跡調査報告書』第1集	第41集	非売品	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第7集	第42集	非売品	
○『塔ノ原遺跡発掘調査報告書』	第43集	¥1,200	
○『米沢城跡発掘調査報告書』	第44集	¥1,300	
○『直江石堤 谷地河原堤防測量調査報告書』	第45集	¥400	
○『窪平遺跡第Ⅰ次・第Ⅱ次発掘調査報告書』	第46集	¥1,300	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第8集	第47集	非売品	
○『一ノ坂遺跡発掘調査概報』第5集	第48集	非売品	
○『矢子山城跡調査報告書』第2集	第49集	非売品	
○『我妻館跡発掘調査報告書』	第50集	¥1,400	
○『直江石堤発掘調査報告書』第2集	第51集	¥3,000	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第9集	第52集	非売品	
○『一ノ坂遺跡発掘調査報告書』	第53集	非売品	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第10集	第54集	非売品	
○『台ノ上遺跡発掘調査報告書』	第55集	非売品	
○『金ヶ崎A遺跡発掘調査報告書』	第56集	¥1,280	
○『大神窯跡』	第57集	¥2,830	
○『東屋敷館跡発掘調査報告書』	第58集	¥1,390	
○『大浦A遺跡発掘調査報告書』	第59集	¥990	
○『米沢遺跡地図』	第60集	¥7,000	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第11集	第61集	非売品	
○『大樽遺跡第2・3次発掘調査報告書』	第62集	¥2,600	
○『上谷地D遺跡発掘調査報告書』	第63集	¥800	
○『丸山日陰館跡発掘調査報告書』	第64集	¥1,000	
○『遺跡詳細分布調査報告書』第12集	第65集	非売品	
○『館山城跡測量調査報告書』	第66集	非売品	

○『大浦B遺跡発掘調査報告書』	第67集	非売品
○『米沢城東二の丸跡発掘調査報告書』	第68集	¥2,600
○『遺跡詳細分布調査報告書』第13集	第69集	非売品
○『古志田東遺跡発掘調査概報』	第70集	¥1,050
○『大浦C遺跡発掘調査報告書』	第71集	非売品
○『遺跡詳細分布調査報告書』第13集(別冊)	第72集	非売品
○『古志田東遺跡発掘調査報告書』	第73集	¥4,200
○『遺跡詳細分布調査報告書』第14集	第74集	非売品
○『大浦B遺跡発掘調査報告書』	第75集	非売品

【一般文化財調査報告書】 以下在庫なし

- 『米沢の民家』
- 『米沢の仏像』
- 『米沢の神社・小祠・石造物』
- 『南原地区芳泉町』
- 『置賜の登拝習俗用具及び行屋調査報告書』

平成13年度文化財関係事業

文化財の現状調査と基礎資料の整備

- ・「白猿」「白鳥」「ホタル」等調査
- ・特別天然記念物「カモシカ」の保護

保存管理の充実

- ・「上杉治憲敬師郊迎跡」(普門院・羽黒神社)
管理補助事業
- ・「史跡 米沢藩主上杉家墓所」管理補助事業
- ・「史跡 米沢藩主上杉家墓所」保存修理補助事業
- ・絹本著色大威徳明王像修理
- ・県指定天然記念物「山上の大クワ」保存対策事業
- ・古志田東遺跡環境整備事業
- ・指定文化財の説明板整備
- ・全国ホタル研究大会米沢大会負担金
- ・歩き・み・ふれる歴史の道東北ブロック大会
- ・上杉家文書(国宝指定 H13. 6. 22)
- ・開発事業に伴う緊急発掘調査の実施

全国史跡整備市町村協議会との連携

後継者育成の促進

- ・万世梓山獅子踊保存会への補助

発行 米沢市教育委員会
〒992-0052 米沢市丸の内一丁目2-1
(文化課文化財担当)
TEL 0238-26-2663